

ドメイン名関連動向

2005年12月9日 (金)
IP Meeting 2005

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
大橋 由美

世界のドメイン名動向

gTLDの登録状況

| TLD | 対象 | 登録数 (2005/07) | 1年間の増減 |
|---------|-------------------|---------------|-----------|
| .COM | 非制約 | 40,316,414 | 9,657,144 |
| .NET | 非制約 | 6,386,877 | 1,363,074 |
| .ORG | 非制約 | 3,823,543 | 647,753 |
| .BIZ | ビジネス | 1,208,564 | 166,754 |
| .INFO | 非制約 | 3,671,913 | 2,429,711 |
| .NAME | 個人名 | 257,406 | 68,773 |
| .MUSEUM | 博物館 美術館 | 2,927 | 112 |
| .COOP | 協同組合 | 6,146 | 205 |
| .AERO | 航空運輸業界 | 3,854 | 165 |
| .PRO | 専門職 (弁護士 医師 会計士等) | 6,297 | 5,018 |

新sTLDの申請状況

| 申請TLD | 対象 | 状態 |
|----------|-----------------|-------------------------------|
| .JOBS | 人的資源管理コミュニティ | 登録受付中 (7月~) |
| .TRAVEL | 旅行業界 | 設置承認 (4月) 2006年1月登録受付開始予定 |
| .MOBI | モバイル機器・サービス | 設置承認 (6月) 2006年上半年登録受付開始予定 |
| .CAT | カタール・ニャ地方コミュニティ | 設置承認 (9月) |
| .POST | 郵便制度との統合 | 選定され交渉中 |
| .TEL (1) | あらゆる通信 | 選定され交渉中 |
| .XXX | アダルトエンターテイメント | ICANNが承認見送り (9月) |
| .ASIA | アジア太平洋地域の個人・事業者 | ICANNが検討中 |
| .MAIL | スパム防止 | ICANNが検討中 |
| .TEL (2) | 電話番号とのマッピング | ICANNが検討中 |

.COMの動向

- ICANNがVeriSignとの紛争終結、和解案を発表
(2005年10月24日)
 - 主な紛争
 - ICANNの要請によりVeriSignが新サービス (SiteFinder) の提供停止を余儀なくされた
 - 2004年2月、VeriSignがICANNを権限濫用・業務妨害として提訴
 - 和解案の内容
 - ICANNとVeriSign間の全紛争を終結させる
 - 両者は国際的仲裁に応じる
 - VeriSignとの.COMレジストリ契約を2012年まで延長する
- 和解案は一般公開中。ICANNバンクーバー会議でも参加者のコメント聴取

.NETの動向

- ICANNとVeriSignのレジストリ契約終了 (2005年6月末日) に先立ち、後任レジストリを競争入札
 - 5社が応札
 - Verisign (.COM、.NETのレジストリ)
 - Sentan Registry (iPRSとNeuLevelの合併会社)
 - Afilias (INFOのレジストリ)
 - DENIC (DEのレジストリ)
 - CORE++ (AEROのレジストリの米COREを中心としたグループ)
審査結果の評価順
- 審査の結果、VeriSignが落札 (2005年6月8日)
- 新レジストリ契約は2005年7月1日から6年間

.EUの動向

- ICANNが「.EU」の創設を決定 (2005年3月21日)
 - EC (欧州委員会)により、レジストリはEURidに
- 登録対象
 - 企業 : EU内に登記している、または本部を持つ企業
 - 個人 : EU内に居住する人
- 今後の予定
 - 第1段階 (2005年12月7日 ~ 2006年2月6日)
 - 公的機関と登録商標保持者を対象に申請受付
 - 第2段階 (2006年2月7日 ~ 2006年4月6日)
 - 第一段階での対象者、及び加盟国の国内法が認定するその他の権利保持者を対象に申請受付
 - 第3段階 (2006年4月7日 ~)
 - 先願による申請受付

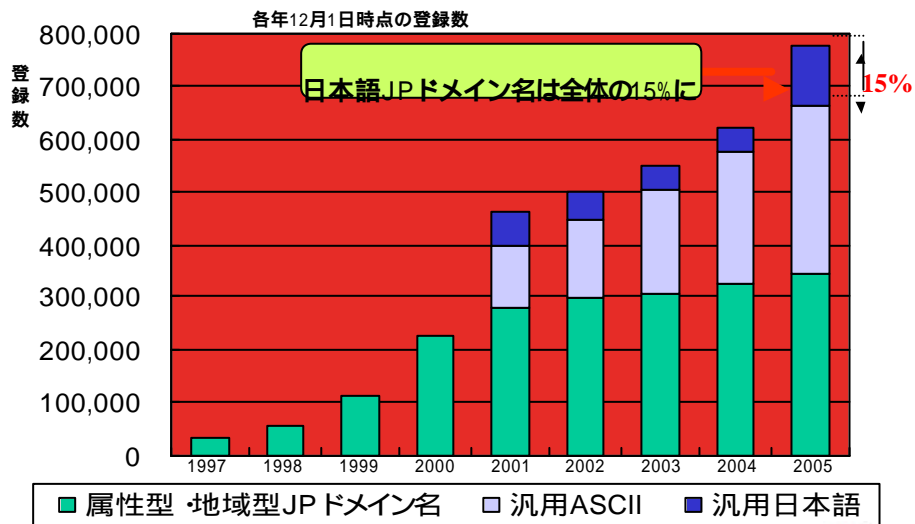
JPドメイン名の動向

JPドメイン名の種類と登録数 (2005/12/1現在)

| 属性型・地域型JPドメイン名(合計:344,793) | | |
|----------------------------|----------------------------|-------------------|
| .AD.JP | JPNIC会員および指定事業者 | 297 |
| .AC.JP | 大学等高等教育機関 | 3,237 |
| .CO.JP | 日本において登記された企業など | 282,451 |
| .GO.JP | 日本国政府機関 | 841 |
| .OR.JP | CO以外の法人組織 | 20,930 |
| .NE.JP | ネットワークサービス | 17,324 |
| .GR.JP | 任意団体 | 8,983 |
| .ED.JP | 初等中等教育機関 | 4,379 |
| .LG.JP | 地方公共団体 | 2,532 |
| 地域型 | 都道府県、市町村、個人等(.TOKYO.JPなど) | 3,819 |
| 汎用JPドメイン名(合計:432,446) | | |
| .JP | 誰でも(汎用ASCII) | 317,246 |
| .JP | 誰でも(汎用日本語) | 115,200 |
| (:英数字のみ、 :日本語文字を含む) | | 総計 777,239 |



JPドメイン名の登録数推移



個人情報保護に関する法律への対応

- 2005年2月1日公開、4月1日実施
 - 情報の取り扱いに関する規則類の明文化と公表
 - JPドメイン名登録者に関する情報の利用目的や、情報の開示、Whoisでの公開等に関する規定を整備
 - JPドメイン名とIPアドレス関連のWhoisを分離
(実施は2005年3月22日)
 - それまでは利便性の観点からWhoisをJPNICとJPRSが共同で提供
 - 情報管理責任の明確化の必要性から、Whoisを分離

IDN (国際化ドメイン名)の動向

IDNを利用したフィッシング

- 世界各国の文字にはよく似た形がある
例)英字の「a」と、キリル文字の「а」
- 似た形の文字によるIDNのURIを見せられることで、偽のサイトに誘導される危険性がある
 - 「paypal.com」と「payp l.com」の例を用いた問題提起がなされた(2005年2月)
- この問題は世界中で大きく取り扱われた
 - 一部のIDN対応ブラウザでは、URIの表示をPunycode表記にするなどの仕様変更も
 - IDNでなくても、「1(イチ)」と「(エル)」、0(オー)」と0(ゼロ)」などでも同様の危険性があるといった意見もあり
- 日本語JPドメイン名に利用できる文字は、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字。危険性は低い

危険回避に向けた対応

- JPRS、CENTR、APTLD等がICANNにコメントを提出
 - これはIDNの標準化の過程で認識済みの問題である
 - 運用ルールにより問題の発生を抑制する方法(RFC3747)がある
 - ICANNからレジストリ向けにIDN実装ガイドラインを発行済み
- UNICODEコンソーシアム、IAB等による技術的な検討
 - 「IDNで使用可能な文字」、「似た記号文字の集合」を具体的に定義した技術レポートを公開(2005年7月7日)
(<http://www.unicode.org/reports/tr36/>)
- 上記技術レポートに合わせ、JPRSは日本語JPドメイン名の利用可能文字から「//」を削除(2005年8月30日)

ICANNによるIDN実装ガイドライン

- 2003年6月、v1.0制定
- 目的 混乱のないIDN登録管理の枠組み構築
 - IDN提供レジストリは準拠を求められる
- レジストリ (含JPRS) レジストラを中心に原案作成
- 言語との関係付け、使用可能文字の規定、等価文字の規定等
- 2005年11月、v2.0制定
 - v1.0以降の経験の反映
 - 視覚的に似た文字が引き起こす問題への対応
 - IANAへの言語テーブル登録
 - 言語、スクリプト等の概念明確化
 - 記号の排除
- 日本語JPドメイン名は、v1.0、v2.0ともに準拠

ブラウザ、サービスのIDN対応

- PCブラウザ
 - 対応済 Firefox、Opera、Netscape、Safari、Sleipnir
 - 未対応 Internet Explorer
 - IE7で対応予定 (2006年見込)
- 携帯電話ブラウザ
 - 対応済 au
 - 2004年末以降発売の機種に日本語JP対応フルブラウザを搭載
 - 未対応 DoCoMo
 - 標準搭載ブラウザのACCESS社「NetFront」がv3.3で対応
 - 今後発売されるモデルへの搭載が想定される
- 検索サービス
 - 対応済 Yahoo、Google
 - 検索結果URLの日本語JPドメイン名表示対応

電子メールアドレスの国際化

- ドメイン名だけでなく、電子メールアドレスのユーザ名部分 (@の左側) についても国際化が必要
 - 中国語圏、アラビア語圏等からの要求が強い
- JET (CNNIC、JPRS、KRNIC、TWNIC)、James Seng、John Klensinが作成したドラフトを IETF に提出
- IETF にて、JET が IMA (Internationalized eMail Address) BoF を提案
 - IETF バンクーバー会議内で開催 (2005年11月)
 - Working Group の設立を提案
- 今後の予定
 - Working Group にて実験実装をベースに議論を進める
 - 1~2年で技術標準化、早ければ3~5年でシステム展開

IDN TLD

- ICANN バンクーバー会議にてワークショップ開催 (2005年11月30日)
- 中国語圏、アラビア語圏などが導入を主張
- ICANN IDN Committee を中心に、今後も議論を継続

参考URI

- ? ICANN
<http://www.icann.org/>
- ? IDN実装ガイドライン v2.0
<http://www.icann.org/general/idn-guidelines-14nov05.htm>
- ? JPRS
<http://jprs.jp/>
- ? EURid
<http://www.eurid.org>
- ? ICANN Board Designates VeriSign to Retain Control of .NET Registry
<http://www.icann.org/announcements/announcement-08jun05.htm>
- ? ICANN and VeriSign Announce End to Long-Standing Dispute
<http://www.icann.org/announcements/announcement-24oct05.htm>